



やまゆり荘 浴室天井

やまゆり荘修理に 400万円

11月27日に保健所の調査があったときに、天井が一部たれていて改善の指摘を受けたので、調べてみると天井が腐っていて危険があり、すぐに応急修理をした。本工事は、いままでの構造とは違うようにおこなうものである。

天井なのでなるべく軽い材質に変更して、安全な温泉にすべく了承された。

30人規模学級に

183万円

小学校の30人規模学級についての国の基準は、児童数41人以上が2クラスとなる。(40人以下は1クラス) 長野県では、信州こまやか教育プランの制度で36人から40人の場合、市町村の選択で1クラスでも2クラスでも良く、その場合4年

生までは費用を県が全額負担し、5・6年生については市町村の財政力指数により3分の1から2分の1を市町村が負担することになっている。福島小学校の5年生は40人で2クラスとなっている。その費用の町の負担3分の1の183万円を県に支払うもの。

※もう一人生徒がいれば、国の負担で2クラスにできたのに、少子化のひずみもここにもあらわれている。

児童福祉施設費

279万7千円

今回の主な補正内容は、年度途中における保育入所に伴う未満児、障害児の受入れに係る人件費(保育士の増額など)である。

福島管内の2保育施設の統合については、現在、統

合等保育園建設委員会で進められている。

委員会では、木曾山林高校校庭への園舎建設を要望している。しかしながら、長野県の高校再編成後に発生する跡地の利用計画がまだ出来上がっておらず、すぐに進められる状況にはなっていない。その方針が確定された時点を待ち、具体的に行動することになっている。

森林整備費減 1,680万円

公益森林機能増進パイロット事業の内容が変更されたことに伴い、1千980万円、町有林整備の作業種変更で300万円をそれぞれ減額し、下流域との協定造林に600万円を追加することになった。

この結果、協定造林の事業量は、389haとなる。

パイロット事業に替わる事業は、「長野県ふるさと森林づくり条例」の森林整備保全重点地域の指定を受け、県と町が協力して森林所有者の負担を要しない「公的森林整備」として事業を進めることとなる。

今後の森林整備に当たっては、地域協議会、森林所有者、森林組合など関係者の話し合いが以前にも増して必要となる。

図書館建設調査費 30万円

昨年9月に図書館建設運営検討委員会から建設に関する答申が出された。それを受け、現在庁内で建設に向けてのプロジェクトを立ち上げ検討をはじめた。これからも様々な課題が出てくるが、検討委員会を基にし、もっと多くの住民、団体の方々の意見をくみ上げ、より充実した検討をしていく予定になっている。



間伐作業